

# 山本助産院だより

2015. 11

236-0031

横浜市金沢区六浦 2-14-12

TEL 045-788-6601

http://yamamotojyosanin.com



お知らせ

◆藤田伸二医師による乳児健診が助産院地下であります。  
11月19日(木)①13時～②14時～  
15時からは藤田先生を囲んでのQ&Aのコーナーがあります。  
料金は3000円(横浜市補助券の対象です。)  
予約は、助産院まで。お待ちしております!

## \* 詩子のつぶやき \* vol.48

ジェネレーションギャップ・・・聞いて!

友人から、大学生の息子が久しぶりにおばあちゃんの家で泊りに行った時の話を聞きました。それがおかしいやら、楽しいやらでおなかを抱えて大笑いです。おばあちゃんと孫の会話が弾み、おじいちゃんとの結婚のなれ初めや新婚当時の話などを聞きながら楽しい夕餉だったとのことでした。

夜も更け、お布団に入ったころ、おばあちゃんが枕元にやってきて「アルバイトばかりしていないで勉強も頑張りなさい。これでズボンでも買いなさい」とぼち袋をくれたのだそうです。

翌朝、帰り支度をしていて息子さんはびっくり仰天!! ジーンズの膝の穴が、当て布をされてすっかりきれいに縫ってあったというのです。

おばあちゃんは「繕い物もできないお母さんでまったくね」と苦笑い。

バイトで買ったばかりのお気に入りのジーパンにあて布があり、唾然としたであろう息子さんですが、「おばあちゃんありがとう、たすかったよ」と言ったのだそうです。

おばあちゃんは、「昔はいていたジーパンをあて布したのよ、色もぴったりね」と上機嫌。

今若者に大流行のボロボロジーパン? 何がかっこいいファッションか、私も理解できませんが、87歳のおばあちゃんには、もっと理解できないことでしょう。

その顛末を息子から聞いた友人は、おなかを抱えて笑い転げたというのです。

継宛てのジーパンをはいて帰ってきた息子のしょぼくれた顔と言ったら・・・それを見てまた大笑い。

息子さんから「おばあちゃんには内緒だよ、余計なこと言わないでね」と念押しされたのだそうです。

言わないでと言われても、こんな面白い話、話さないわけにはいかないわ・・・聞いてよねと友人。

その話を聞いて大笑いしながらも、なんて優しい子に育ったことだろうと感心したのでした。

昭和40年代後半、厚底靴が流行し高校生だった私は、意気揚々と厚底靴をはきました。

「なんだかわからない靴はいて～～」と祖母に言われたことを思い出しました。

時代はめぐり・・・いつの間にか

今の若者ファッションが、

私にはわからなくなりました。



## こんぶと煮干しの佃煮

(材料)

- ・昆布、煮干し、かつおぶし、だしパックの中身 など、だしを取った後のものでOK
- ・しょうゆ 砂糖 適量



(作り方)

- ①だしを取った後の昆布を一口大に切る
- ②背ワタと頭を取ったにぼしをフライパンで乾煎りする。
- ③昆布、かつおぶしなどを入れて軽く乾煎りし、しょうゆ、砂糖で味を整える。

## 実習生の紹介

10/19～10/30 まで実習させていただきました。実習中「名前を赤ちゃんへ贈る最初のプレゼントだから」という言葉を耳にしました。みなさんはどんな名前を赤ちゃんに贈りましたか? ちなみに私たちの名前には、こんな意味が込められています。

郁奈:「郁」という字には「あたたかい(ふみな)」という意味があり、「心のあたたかい人になりますように」という想いを込めて名付けられました。みなさんの心に寄り添える心のあたたかい助産師になれるよう頑張ります。

実優:「実」は夢が実りますようにという(みゆ)願いが込められており、「優」は優しい女性になりますようにという願いが込められています。優しい助産師になる夢が実るよう頑張ります。

麻美:当時有名な女優さんの名前からつ(あさみ)けられました。後から曾祖母から「麻」布のように丈夫で「美」しくなる意味があるんでしょと言われる、名前の意味はそちらを採用しています。ちなみに女子アナランキング1位の水トアナと同じ名前です!

皆さまの込めた思いが届き、子どもたちが元気に成長することを祈っています。ありがとうございました。

慶應義塾大学看護医療学部 助産師選択コース  
稲津郁奈 堀内実優、横田麻美

## リレー随筆～ママたちの文化祭 2015 スタッフより

深田 明日香  
泥染めワークショップ担当&文化祭の企画運営に、奮闘してくださいました♪

我が家には8歳の息子、3歳の娘、11月で1歳になる息子がいます。

現在は育休中ですが、もうすぐ復帰目前で心の中もなんだかバタバタと忙しくなってきました。保育士という仕事柄、卒乳、断乳で悩んでいるママさんたくさん出会ってきました。お友達の中にもそろそろやめた方が良くないかなと悩んでいるママさんの話を聞く時がよくあります。

そんな時、私はこんな話をします。

我が家の長男はおっぱいが大好きでした! 2歳になった頃、通っていた保育園の先生から、そろそろおっぱいも卒業かな?なんて声が聞こえるようになり、そろそろやめた方が良くないかなと考え、私の判断で断乳することに...ある日、おっぱいもうバイバイしようね、と話して本人も分かったと納得した様子でしたが...その夜、いつもはおっぱいで寝ていた息子は布団に入ると隣で静かにシクシク泣いていました。見ていてとても悲しくなり、良く考えたら2歳で止めようなんて私の勝手な判断で、本人の気持ちなんて全く考えていませんでした。おっぱいを飲ませ続けての、メリットはたくさんあるけど、デメリットは、自分が夜中に続けて寝れない事など、自分が頑張れば良いことばかりでした。

その夜の息子の涙を見て、やっぱり満足いくまで飲ませてあげようと思い直し、卒乳を目指して育てました。

そして5歳離れた妹を妊娠した頃、自分からお兄ちゃんになろうと決意したのか『もう、おっぱいお終いにする!』と、すんなり卒業したのでした。今考えると、親子の大切な大切な時間だったと思います。今では反抗期の小学生ですが、心の底は優しく育ちました。おっぱいタイムのたびに、たくさん抱っこして触れ合ってきたかけがえのない時間が心の根っこにあると思っています。

